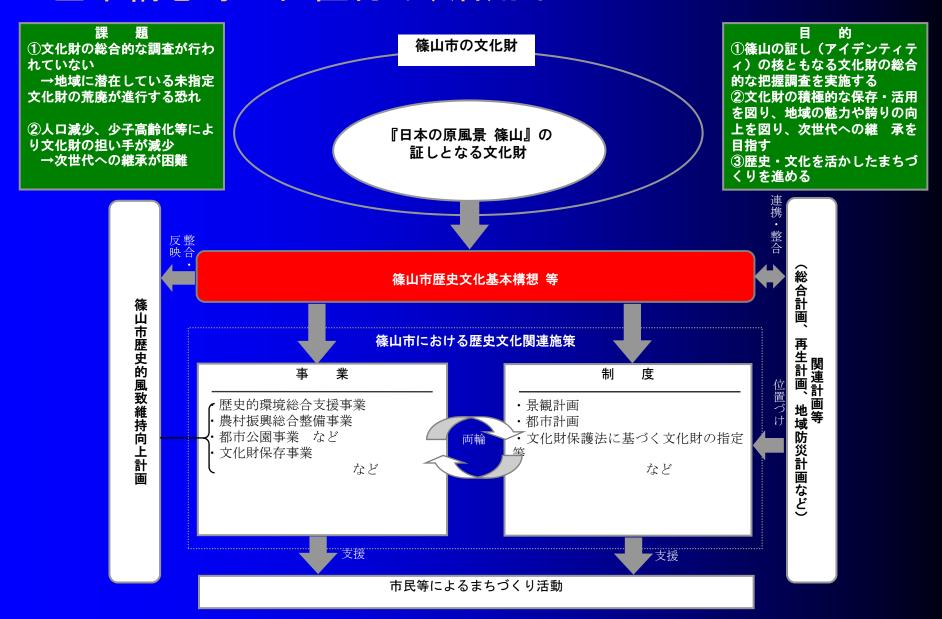
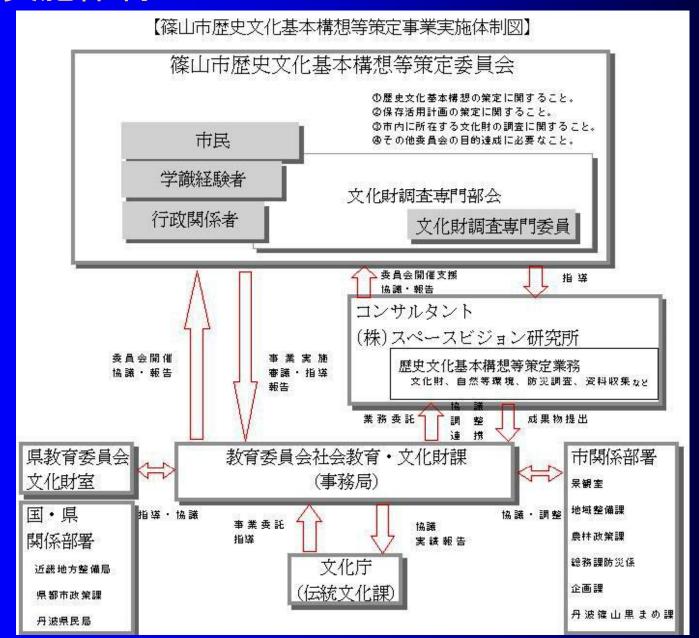
## 基本構想等の位置付け、活用イメージ



## 事業実施体制



## 平成20年度 事業内容

- ○委員会の開催(3回)
- 〇文化財、自然等環境把握基礎調査
  - ▶ 指定213件、未指定文化財3,342件の

把握調査・データベース化

- 〇文化財防災基礎調査
  - ・災害履歴調査、ハザードマップと文化財分布図の合成、 土砂災害・水害などの危険性の有無、問題点把握
- 〇資料収集、各種計画等整理
- 〇実績報告書の作成

## 課題•問題点

- 〇篠山における原風景の定義づけ
- ○調査目的・方法の委員間での共通認識化 各専門分野間をどう関連づけるか 共通テーマの設定
- ○構想策定後の具体的な活用イメージ
  把握した膨大な文化財の保存活用方策
  歴まち法の活用(将来的に活用可能な視点での調査)
  財政難→新規事業実施が困難(50%負担できない)
   (具体的に何をするのか?何ができるか?)